

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年2月2日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理グループ長 (氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,501	△3.0	666	△7.3	1,141	37.7	907	53.3
29年3月期第3四半期	21,131	2.4	719	△13.5	828	△6.1	592	2.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 961百万円(△7.0%) 29年3月期第3四半期 1,034百万円(22.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	33.49	—
29年3月期第3四半期	21.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,098	8,446	33.7
29年3月期	24,929	7,620	30.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,446百万円 29年3月期 7,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	0.1	680	△6.4	1,000	19.3	780	42.0	28.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	35,000,000株	29年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	7,890,645株	29年3月期	7,890,604株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	27,109,394株	29年3月期3Q	27,109,396株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が継続いたしました。景気の先行きについては底堅く推移することが見込まれる一方、国内外の経済政策の動向及び金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において16.93セントで始まり、直後に17.18セントの高値をつけましたが、世界的に砂糖供給量が増加するとの見通しから下落傾向に転じ、6月下旬に約1年4ヶ月ぶりとなる12.53セントの安値をつけた後、13セント前後から15セント半ばの範囲で推移しました。年末にかけては、原油先物相場の上昇に起因した主要生産国ブラジルでのエタノール消費拡大観測及び砂糖供給量の減少懸念もあって相場は上げ基調となり、15.16セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初195～196円で始まりましたが、粗糖先物相場の下落を受けて7月中旬に189円～190円に値を下げ、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、業務用製品についてはおおむね堅調に推移しましたが、家庭用製品については需要の減少傾向を背景に伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は19,039百万円（前年同四半期比2.9%減）、セグメント利益は1,265百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖事業は、「オリゴのおかげ」ブランドの価値向上を通じた業容の拡大を目指し、主要特約店との拡販キャンペーン及び主力量販店を中心とした販売促進活動の積極的展開に加え、TVCM他各種メディアによる広告宣伝及び雑誌との連動企画等、消費者への訴求を通じた販売強化に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品及び非食品への拡販に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は1,416百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益は203百万円（前年同四半期比34.7%減）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は97百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益は48百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は20,501百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業利益は666百万円（前年同四半期比7.3%減）、経常利益は1,141百万円（前年同四半期比37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は907百万円（前年同四半期比53.3%増）となりました。

なお、当連結会計年度より、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。当変更に伴う影響につきましては「（セグメント情報等）」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて168百万円増加し、25,098百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金492百万円の増加、原材料及び貯蔵品341百万円の減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて657百万円減少し、16,651百万円となりました。

これは主に、短期借入金が700百万円増加した一方で、長期借入金が1,140百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて826百万円増加し、8,446百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が772百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月11日公表の業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108	1,320
受取手形及び売掛金	1,801	2,294
商品及び製品	1,303	1,084
仕掛品	305	218
原材料及び貯蔵品	1,352	1,011
繰延税金資産	75	72
その他	971	992
流動資産合計	6,919	6,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,867	9,957
減価償却累計額	△6,137	△6,331
建物及び構築物(純額)	3,730	3,625
機械装置及び運搬具	11,068	11,131
減価償却累計額	△9,371	△9,475
機械装置及び運搬具(純額)	1,696	1,656
工具、器具及び備品	428	445
減価償却累計額	△365	△383
工具、器具及び備品(純額)	63	61
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	99	40
有形固定資産合計	10,824	10,619
無形固定資産		
ソフトウェア	10	129
その他	140	6
無形固定資産合計	150	135
投資その他の資産		
投資有価証券	5,004	5,395
長期貸付金	1,300	1,274
繰延税金資産	649	607
その他	81	72
投資その他の資産合計	7,035	7,349
固定資産合計	18,010	18,104
資産合計	24,929	25,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030	897
短期借入金	5,950	6,650
1年内返済予定の長期借入金	2,043	1,696
未払法人税等	59	117
未払消費税等	49	274
賞与引当金	81	39
その他	1,061	1,164
流動負債合計	10,276	10,839
固定負債		
長期借入金	5,908	4,768
退職給付に係る負債	791	717
その他	332	326
固定負債合計	7,032	5,812
負債合計	17,309	16,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,915	9,688
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	7,885	8,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△277	△236
繰延ヘッジ損益	△7	△1
退職給付に係る調整累計額	19	26
その他の包括利益累計額合計	△265	△210
純資産合計	7,620	8,446
負債純資産合計	24,929	25,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,131	20,501
売上原価	17,493	16,807
売上総利益	3,638	3,694
販売費及び一般管理費	2,918	3,027
営業利益	719	666
営業外収益		
受取利息	25	20
受取配当金	112	112
持分法による投資利益	92	418
その他	3	11
営業外収益合計	234	563
営業外費用		
支払利息	82	74
支払手数料	22	5
その他	20	8
営業外費用合計	125	88
経常利益	828	1,141
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
投資有価証券売却損	—	3
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	826	1,142
法人税、住民税及び事業税	240	212
法人税等調整額	△5	22
法人税等合計	234	235
四半期純利益	592	907
親会社株主に帰属する四半期純利益	592	907

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	592	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	418	39
繰延ヘッジ損益	15	5
退職給付に係る調整額	8	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	442	54
四半期包括利益	1,034	961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,034	961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,594	1,454	83	21,131	—	21,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	21	14	49	△49	—
計	19,608	1,475	97	21,181	△49	21,131
セグメント利益	1,187	312	42	1,542	△822	719

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,024	1,393	83	20,501	—	20,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	23	14	52	△52	—
計	19,039	1,416	97	20,554	△52	20,501
セグメント利益	1,265	203	48	1,517	△851	666

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、管理区分の見直しに伴い、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示していません。